

初任者の夏休み

いよいよ夏休みですね、正式には夏季休業と言います。初任者にとって、緊張の連続だった1学期だと思いますので、ひとまずほっと一息というところでしょうか。さてこの夏休みをどう過ごすか、もうすでに予定を立てていることと思いますが、私からいくつか留意点やら要望をお願いしたいと思っています。

1 初任者研修が優先

県の校外研修は5日間あります。まずこの研修に集中しましょう。内容があらかじめ公表されているので、受け身ではなく、予習をしっかりしていくと良いと思います。

服装は、クールビズとはいえ、初任者はスーツで行くのが良い。講師が脱いでくださいと言ったら脱げばいいわけで、最初はスーツで講師を迎えるのが礼儀かと思います。

小学校の研修は、高校で理科実験があるようですが、場に合った服装という面では、白衣を用意するのがいいかと思います。わざわざ買う必要は無いと思いますが、いずれは自分が理科の授業で使うことを考えると、あってもいいかなと。一生ものですから。

上履きは自分で用意し、くれぐれも学校のスリッパを使うことのないように。お客様ではないのだから。

レポートは早めに書いておく。9月に入ったら、書いている暇はありません。

2 日直の留意点

やることはたくさんあります。朝・夕の水やりから電話対応、来客対応、見回り、戸締まりと…

まずは水やり。花壇の草花や鉢植えは必須として、学年の畑や、ゴーヤやトマト、稲の水やり、持ち帰っていないナスの鉢植えや、学級に置き去りにされた鉢植え等、水をほしがっている草花があるかもしれません。救ってあげてください。1時間はかけるつもりで。

つぎに来客対応。事務室に事務さんがいるとはいえ、積極的に窓口で応対してください。事務さんまかせにして、自分はパソコンに向かっていることのないように。用務員さんも出勤している場合があるので、用務員さんの席を占有しないように。TVも見ない、勤務中ですから。

そして戸締まりのポイントは、自分が侵入者になったつもりで考える。外からならどこを狙うか、まずは1階の窓の鍵、非常階段のドアというところでしょうか。外で言えば、プールの鍵、夜中に泳ぎに来るふとどきな卒業生もいる。グラウンドで花火をする者もいるので、それらを想定してポイントを押さえておく。



3 教材研究・教材準備をしましょう

来たる9月からの授業のために、まず週案を3ヶ月分作りましょう。そして授業計画を練る、教材研究をする、板書計画を立て、板書用ノートを作る、VTRを用意する、自作教材を作る、フリップを作る、実際に行ってみる。例えば、小5社会で「放送局の働き」の授業のために、自分で見学に行ってみる、この経験を子ども達に聞かせたら、目を輝かせて聞くことでしょう。理科なら、実験教材を人数分取りそろえたり、注文したりして準備をしておく。全教科だとやることはたくさんあります。

4 学区を歩いてみましょう

学校として夏休み中に家庭訪問を位置づけている場合はよしとして、近頃は家庭訪問は、希望する家庭のみで、希望しない場合は実施しないという学校もあるので、その場合は、独自に学区訪問という形で、家の外観や近隣の環境、通学路などを確認して回る時間を作るといいと思います。夏休み中ならば可能です。担任が自分のクラスの子の家を知っているのは、あとあと役に立ちます。ただし不審者と思われないように、行ったり来たりしない方がいいかと。

学区の中には、公園や集会所、スーパー、危険箇所等、子ども達が立ち入りそうな場所は直接行って確認しておくといいと思います、歴史遺産がある場合もあり、教材として利用できるかもしれません。例えば、学校の歴史をひもとくと、最初に開校した寺子屋が、まだ学区に寺として残っているという場合もありますから。

- 以前勤めていた学校の学区の隣に、大型ショッピングセンターがあり、大変な人で賑わっていました。あるとき、クラスの子達に「昨日〇〇に行った人は？」と聞いたことがありました。そしたら10人ぐらい手が上がりました。ということは、学校全体では100人以上いたということかとびっくりしたことがあります。私も休みの日にたまに行っていただけに、見られていたかもしれません。

その後転勤した学校で、職場結婚したという2人に「どこでデートしてたの？」と聞いたら「〇〇で」と言ったから更にびっくり。よくまあ噂にならなかったなあと思いました。

5 ファイル整理をしましょう

1学期の間に、文書ファイルがたまっていると思います。全部とっておくと、1年間で相当ぶ厚くなります。不必要なものは捨てましょう。例えば日報、週報、職員会議資料、運動会資料、これらはとっておいても結局使わずに年度末に廃棄することになるので、捨てて構いません。もし必要になったときは、職員室に保存用ファイルがあるはずで、教頭か教務主任が管理していますから、そのファイルを見るか、作った担当の先生に聞けばいいのです。

研修資料は、将来これは使いたいなと思うものだけを取っておくと良いでしょう。整理は、時系列で、インデックスをつけておくと良いでしょう。あとで資料を見たいなと思ったとき、「あのときに、たしかあったな。」と記憶をたどることが多いので、分類は時系列が良い。

6 部活動は適度に

中学の部活動は夏休みこそ稼ぎ時です。夏休みに入ってすぐに総体の大会があります。3年生にとっては、全国につながる最も大事な大会です。顧問としても練習に熱の入る時期です。8月に入ると県大会も終わり、新チームの結成時期で、練習を軌道に乗せるのに大事な時期です。8月末には新チームの練習試合や大会と、休む間もありません。

しかしあなたは初任者。校外研修や出張のある日は部活を休みにせざるを得ず、その分を穴埋めしようとして無理に練習日を作る、自分の休養日も無し、結局部活以外何も出来ずに夏が終わり、疲れだけが残ってしまいます。潰れないためにも、老婆心ながら、今年は我慢しましょう、ガンガンやるのは来年にしましょう。

7 8月最後の1週間は大事

9月から始まる生活リズムのために、朝は定時に出勤して、教材準備をし、学級掲示を整え、子ども達の受け入れ準備をしましょう。

時には自転車ですらりと学区を巡回し、定時に帰る。体慣らしをしましょう。始業式に子ども達に元気な姿を見せるためにも。

8 高校巡りをしてください

中学3年の担任になると、進路に関わり、高校の名前がばんばん出てきます。その話題について行かなければなりません。保護者は、この担任で大丈夫だろうかと試してきます。「〇〇高校を考えてるんですけど、先生はどう思いますか？」と。そんなとき「ああ、どうでしょうかねえ。」などと曖昧な返事をしようものなら、「この先生は、知らないんだ。」と見透かされてしまいます。そうならないために、今から準備をしておきましょう。

県内で覚えておいた方がいい高校は、公立高校が約50校、私立高校が約40校です。この全部の高校の所在地、成績ランク、特徴を覚えておく必要があります。一番いいのは全部行ってみることです。中に入らなくてもいい、校門まで行って、眺めてくれるだけでいい。車で行くと楽ですが、何駅が一番近いのかも知る必要があります。

3年の担任になる前に全部回っておくには、長期の休みに計画的に回っておく必要があります。

初任者のあなたが、来年いきなり3年の担任になることはほぼ無いとして、来年は1年担任、次は2年担任、その次に3年担任といくのが順当かとして、今年の夏に20校、冬に10校、来年の夏冬で30校、再来年の夏冬で30校巡るとちょうど間に合うかなと思います。将来のための備えです。頑張ってみてください。



- 以前3年を担当していたときに、学年主任に連れられて高校巡りをしたことがあります。受験関係の書類の提出で、車で一日中県内の公立高校を回りました。20校ぐらい回ったのでしょうか、そのおかげで学校までの道のりや立地条件、校舎の外観、高校生の雰囲気などおぼろげながらつかむことが出来、とても役立ちました。

中でも印象に残っているのは、県内屈指の進学校といわれる高校に行ったとき、グラウンドで体育をしていましたが、見学をしている女子がガムをかんでいる姿を見かけたり、ある工業高校の2階の教室から、黒板を何かでバンバンたたく音と共に、熱のこもった授業をしている教師の声が聞こえてきたりしたことです。